



岡崎南ライオンズクラブ

Okazaki-minami LIONS CLUB

合同会報 11 月号

11月10日(木)PM2:00 ~ 3:30

市民経済講演会例会(11月第1例会)

《 どうなる平成 24 年の日本経済 》



慶応義塾大学教授 金子 勝氏による熱の入った講演



名鉄電車で来岡。東岡崎駅でL・水嶋武広がお出向かえ。タクシーで「りぶら」へ

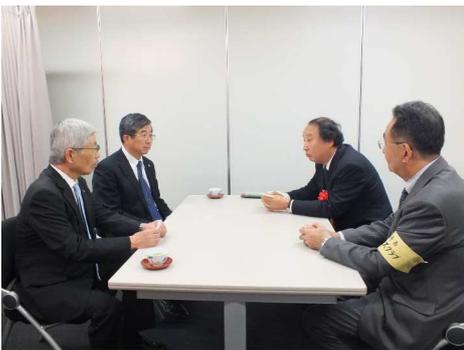
鈴木会長と金子氏



L. 理事と金子氏



マスコミでの辛口経済評論家のイメージとは違い、気さくで温厚な紳士。



三河地区の経済論議で盛り上がってます。自身を異端児と称した。しかし、経済予測の的確性は非常に高い。大切な情報収集か！？



最初からステージから乗り出さんばかりの熱弁で、聴講者の心をキャッチ。

リーマンショック、東日本大震災、福島原発事故、と続いた日本の危機の抜け道は、過去の教訓を生かした発想の転換と主張。

会場満席の聴講者に日本の危機、世界の危機を訴える金子氏



今こそ、第三次産業革命の真っ只中。エネルギー転換(新生エネルギー方式)にビッグチャンスが国、個人にもあるとの予測を示唆。(熱弁で帰りの時間を忘れてます。！！帰りの電車が心配です)



会長からお礼の挨拶。

花束、記念品の贈呈

この後、即刻タクシーに飛び乗り、東岡崎駅へ。

主な講演内容

東日本大震災のもたらしたもの

- 1) その規模
- 2) 関東大震災とは違う農林水産業地帯
- 3) エンドレスな福島原発事故

不良債権問題との類似性

- 1) 情報隠しと無責任体系
- 2) 賠償スキームはうまくいくのか
- 3) 電力改革しか抜け道はない

世界は三重の危機にある。3つの危機を同時に抜ける道は？

- 1) 世界金融危機
- 2) エネルギー危機
- 3) 地球温暖化の危機

エネルギーと食料の自給からカウンターアタックを

- 1) 大恐慌からの教訓
- 2) 原子力は安いエネルギーか？
- 3) エネルギー転換の政策
- 4) 再生可能エネルギーへの固定価格買取制度の意味

21世紀資本主義は？

- 1) 金融資本主義から公共的資本主義へ
- 2) 中央集権メインフレーム型から地方分散ネット

ワーク型へ

